



テーマ:市民主役のまちづくり  
~熟議方式を使って~

○テーマ背景  
“これまでの行政と市民の関係には  
限界がきている...”

↓

平成22年 市民主役条例 施行

“ここに市民の参加と協働で、  
未来への夢と希望が広がる鯖江をつくるために、この条例を制定します。”  
(鯖江市市民主役条例 序文より抜粋)

市民主役条例委員会 発足

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 2

中間調査報告(1)

○実施日  
2012年8月27日~30日

○ヒアリング先

- ・(株)セカンドアカデミー 佐々木 様
- ・鯖江市市長協会の皆様
- ・鯖江市連合青年団 副団長 坂江 様  
事務局長 タカシマ 様
- ・市民主役条例委員会委員長 粟輪 様
- ・北中山地区会長兼副会長 藤本 様
- ・いの木クラブ 様
- ・学生団体with 様

○主な聞き取り内容  
まちづくりのための活動について、活動動機、  
困っていること など。

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 3

中間調査報告(2)

市民主役条例における「市民主役」

“わたしたちは...まちづくりの主役は市民であるという思いを共有し、  
責任と自覚を持って積極的にまちづくりを進めます。  
市は...協働のパートナーとしてまちづくりに参加する市民の気持ちに  
寄り添い、その意思を尊重するとともに、自主自立を基本とした行政  
運営を進めます。”  
(鯖江市市民主役条例 第2条基本理念より抜粋)

市行政にとっての「市民主役」

市民にとっての「市民主役」

「市民主役」の意味についての  
認識がきわめて異なる

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 4

中間調査報告(3)

多くの市民は、行政と連携する形でのまちづくりにはプレッシャーを感じる

まちづくりに関する委員会や会議体のメンバーが似通った顔ぶれである

行政側から市民にまちづくりへの参加を働きかけることは、市民主役に矛盾するのではないかと?

提案!

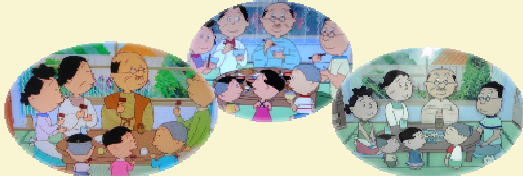
明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 5

(提案) サバエさん計画

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 6

## 事業提案 サバエさん計画(1/5)

- なぜ「サザエ一家」は国民的一家なのか？

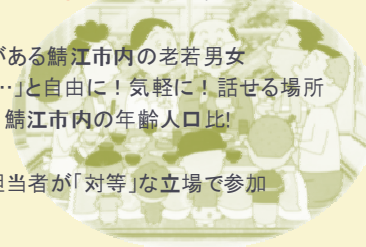


老若男女 毎日朝夕2回 同じ居間に集う  
**一家団欒**こそが 家族円満の秘訣。

## 事業提案 サバエさん計画(2/5)

- サバエさんの**一家団欒**とは？  
 = 鯖江市民の間に**家族的な絆**を持たせる場です！

- ▼ 団欒テーマに興味がある鯖江市内の老若男女  
 「ああ、そういえばね…」と自由に！気軽に！話せる場所  
 参加者の年齢比は、鯖江市内の年齢人口比！  
 新規参加者の確保
- ▼ テーマに近い行政担当者が「対等」な立場で参加
- ▼ 終了後はご飯へ！



## 事業提案 サバエさん計画(3/5)

- サバエさんの**一家団欒**とは？  
 参加者の誰もがしゃべりやすいことが大切！  
 話し合いの場の工夫を！

- ▼ ファシリテーター = フネさんのイメージ！
- ▼ 補助物



## 事業提案 サバエさん計画(4/5)

- 板書方法

“原則として発言者の言葉をそのまま書く。要約すると書き手の意志が入り込んでしまうため。板書は進行を遅らす効果があるが、内容整理、意見の可視化、議論の展開の拠り所になる効果など重要なメリットがある。”

(中野民夫他『ファシリテーション～実践から学ぶスキルとこころ』、岩波書店、2009年)



## 事業提案 サバエさん計画(5/5)

- 話し合いの流れ



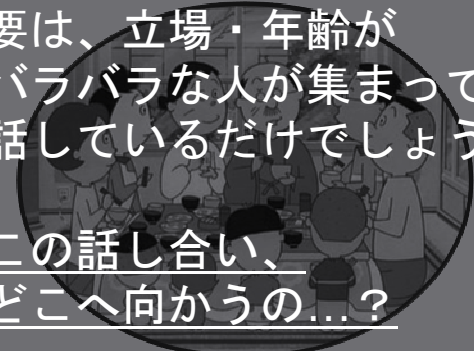
- 1: **共有**... 様々な情報・目的・ゴール設定などを共有し、参加と相互作用の根拠を築く段階
- 2: **拡散**... 自由な発想でアイデアを拡げ、多様な可能性を膨らませる段階
- 3: **収束**... 具体的な成果に向かって意見を集約し、まとめていく段階
- 4: **共有**... 今までの成果を確認し、次に向けてのステップを明確にする段階。

★この流れで進んでいく時、壁にぶつかる時がある。  
 Ex) 良いところまで来ているが決定打がない。様々な意見が飛び交い続ける。アイデアが拡がったけれども納得できない。  
 →このような状況は一種の混沌的な状況が発生することがあるが、混沌的な状況は創造的な成果を生み出すうえでなくてはならないものである。

## 【提案】 サバエさん計画

要は、立場・年齢がバラバラな人が集まって話しているだけでしょ。

この話し合い、どこへ向かうの...？



## もっと サバエさん計画!(1/5)

- サバエさん計画とは  
政策立案や政策決定の中心に市民を巻き込む前に、  
まずは多様な市民から率直な意見を収集する場をつくり、  
そこでなんでも聞いてくれる！話せる！という家族のような「安心感」から、  
市民のまちづくり参画へのプレッシャーを和らげようとするものです。

わたしたちは、市民が自分の身の回りについて  
意識をはじめには、  
まずは他者の考えに触れてみることに  
大切であると考えます。  
それにはまずは集まってみること。  
そこから少しずつ、上手に話を引き出していく姿勢、  
ちょっと気になること、人に声をかけてみる姿勢が  
条例・行政・市民が求める「市民主役」意識のきっかけになると  
考えます。

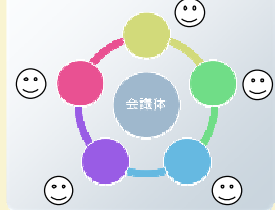
## もっと サバエさん計画!(2/5)

### 知恵集約型



行政ベース・一つの結論  
メンバーはステークホルダー、行政が決定  
すっきり ⇔ 裏返せば、それしか結論がない

### 仲間巻き込み型



個人ベース・多くの懸案事項  
メンバーは仲間が仲間を呼ぶ  
参加メンバーが各自感じたものを持ち帰る  
もやもや ⇒ また話したくなる！

## もっと サバエさん計画!(3/5)

行政側から市民にまちづくりへの参加を働きかけることは、  
市民主役に矛盾するのではないかな？

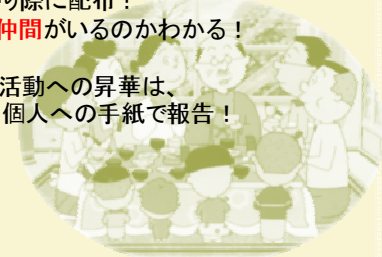
話し合いのメンバーは、まずは市行政が呼んでくれることが大切。  
これは矛盾ではありません。  
なぜなら、市は「協働のパートナー（市民主役条例第2条）」であるためです。

発起人である市は、この場に市民をどんどん巻き込んでいくこと。  
これに全力を注ぎましょう。

## もっと サバエさん計画!(4/5)

- ・市内NPO法人・団体・提案型事業制度一覧の  
ハンドアウトを帰り際に配布！  
→どこに潜在的な仲間がいるのかわかる！

- ・政策立案・事業、活動への昇華は、  
『広報さばえ』や、個人への手紙で報告！



## もっと サバエさん計画!(5/5)

